

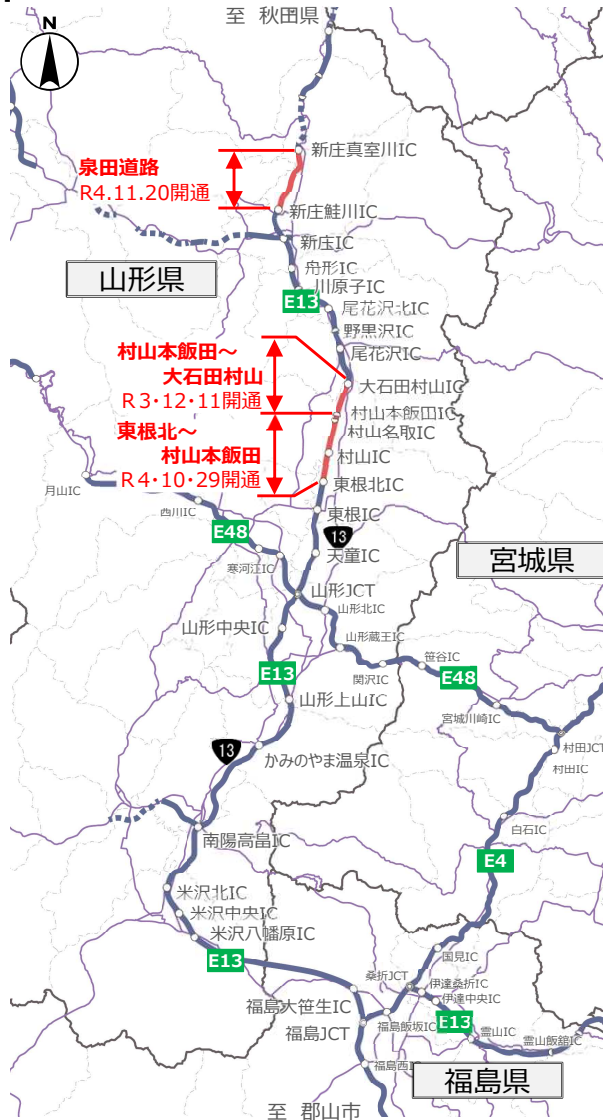
東北中央自動車道の整備に伴う 交通状況の変化と整備効果

国土交通省 山形河川国道事務所

都市間所要時間の短縮

- 東北中央自動車道の段階的な開通に伴い、関東と新庄までが東北中央自動車道により直結。
(東根北IC～村山本飯田IC：令和4年10月、泉田道路：令和4年11月)
- 福島市～新庄市間の所要時間が、未開通時に比べ約93分短縮し、令和3年から約24分短縮。

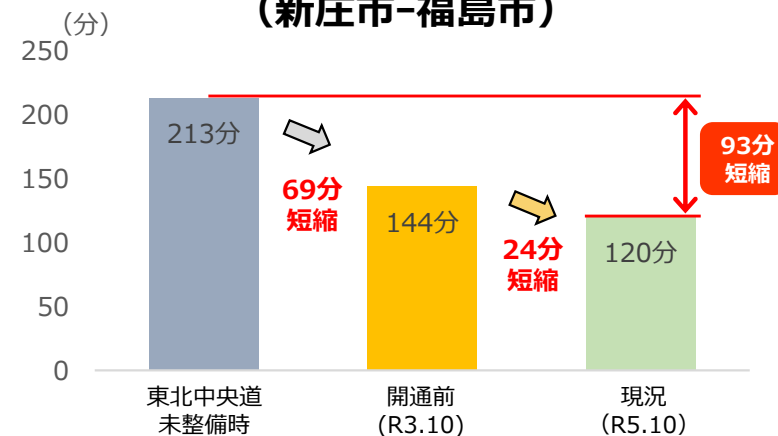
■ 位置図



■ 東北中央道(大石田村山IC付近)の状況 (R5.9.13)



■ 所要時間の変化 (新庄市-福島市)

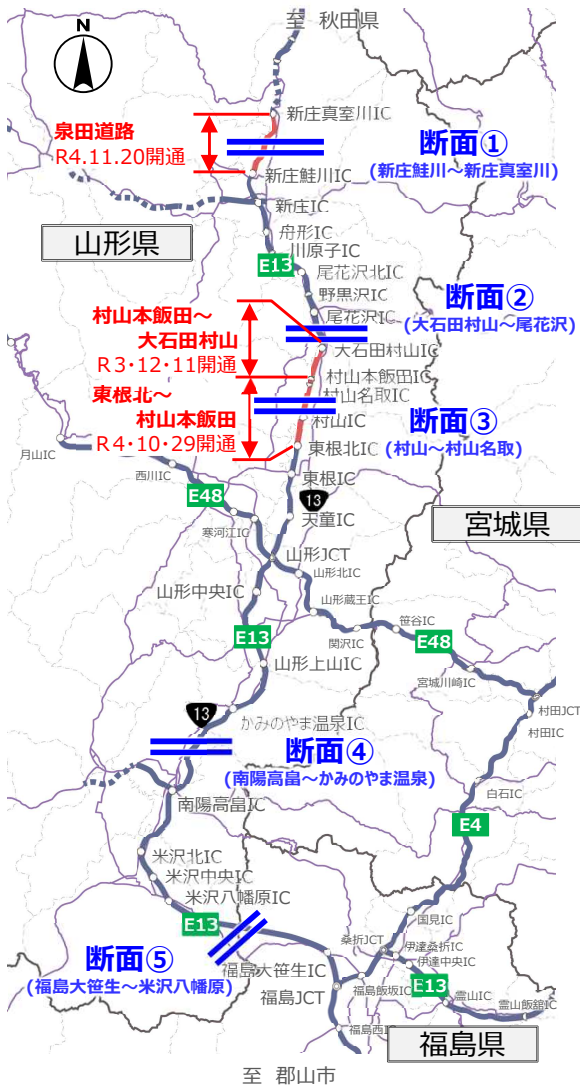


出典：R3全国道路・街路交通情勢調査（昼間12時間平均旅行速度）
東根北～大石田村山間は80km/h

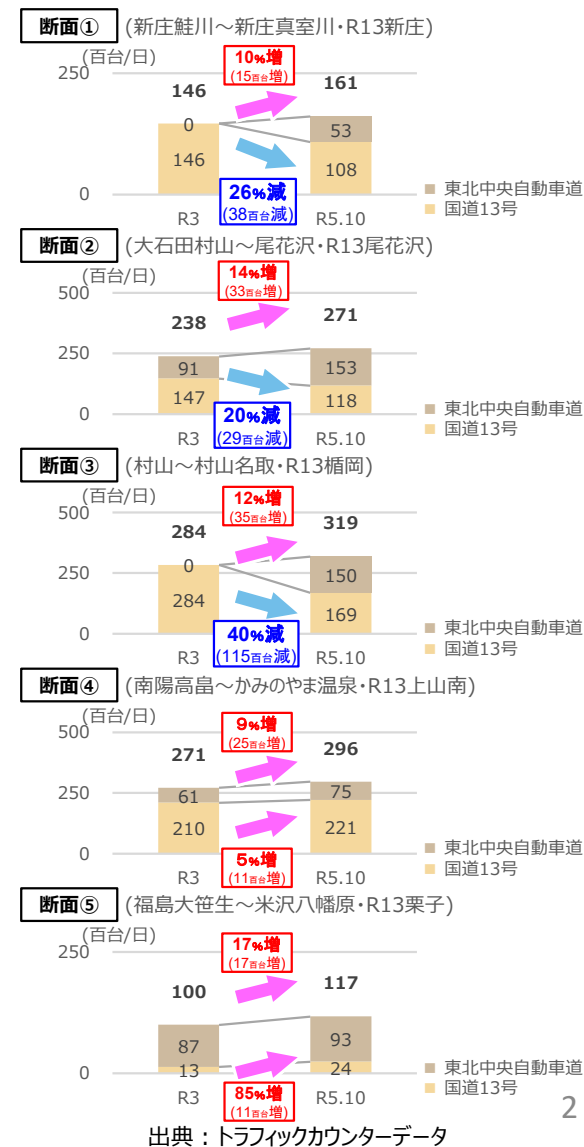
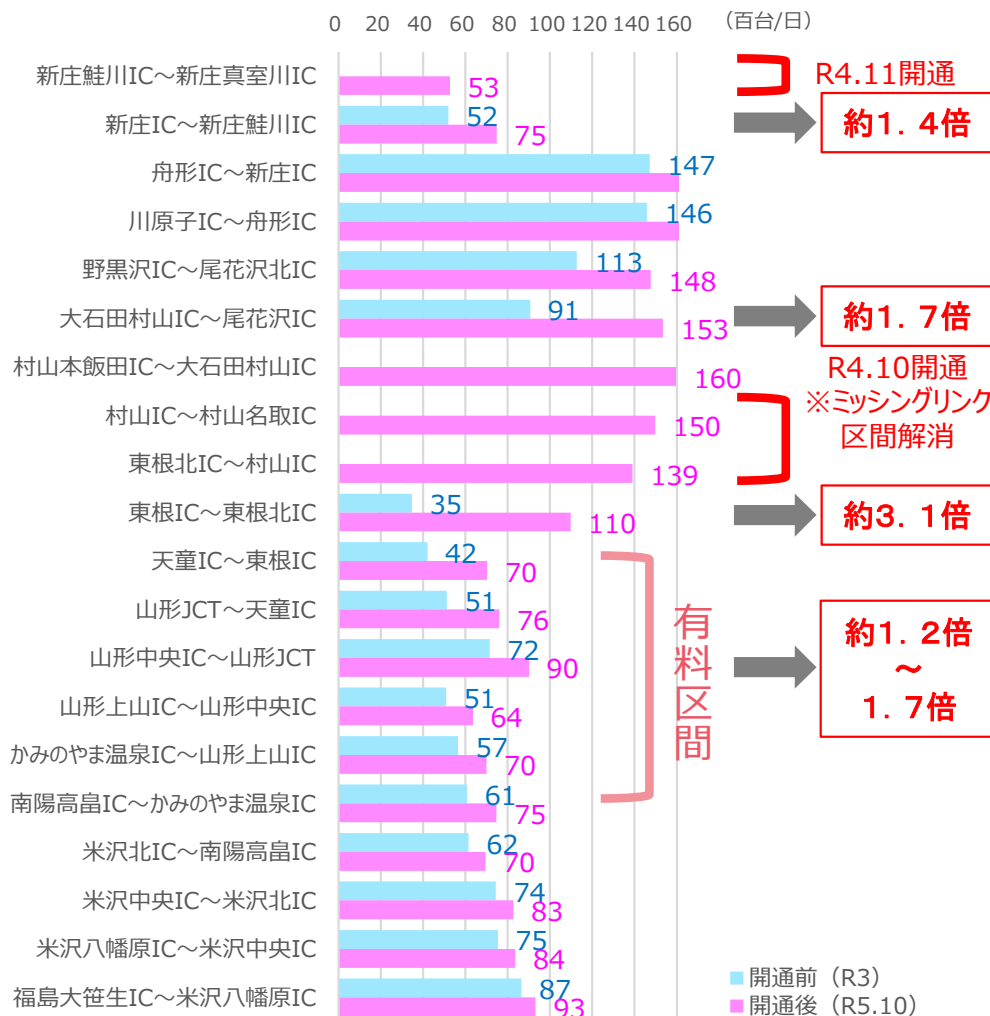
東北中央自動車道及び主要断面における交通量の変化

- 東北中央自動車道の交通量は、ミッシングリンク解消により、開通区間の前後を中心に増加（約1.7～3.1倍）
- また有料区間においても、交通量が増加。（約1.2～1.7倍）
- 並行する国道13号からの転換だけでなく、東北中央自動車道と国道13号を合わせた断面交通量も増加。

■位置図



■東北中央自動車道の区間別交通量の変化（平日） ■断面交通量の変化（平日）



出典：(R3) 全国道路・街路交通情勢調査 (R5.10) トラフィックカウンターデータ

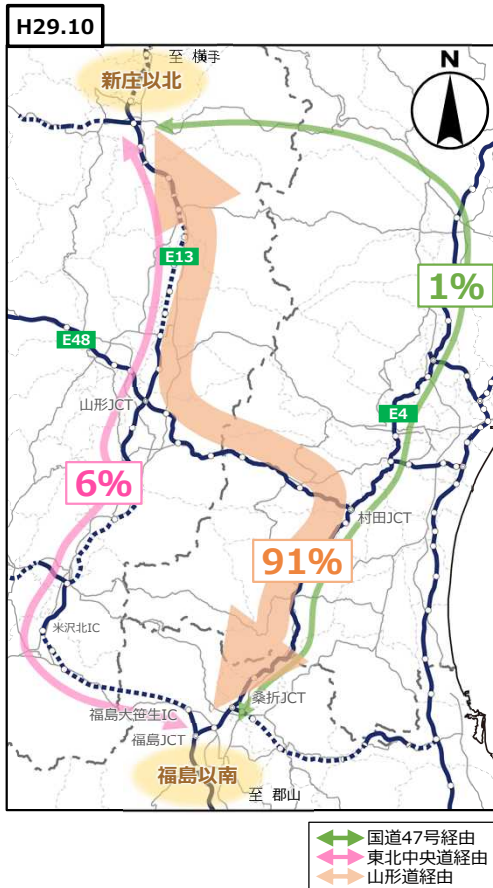
出典：トラフィックカウンターデータ

高速道路の環状ネットワークの形成による広域交通の転換

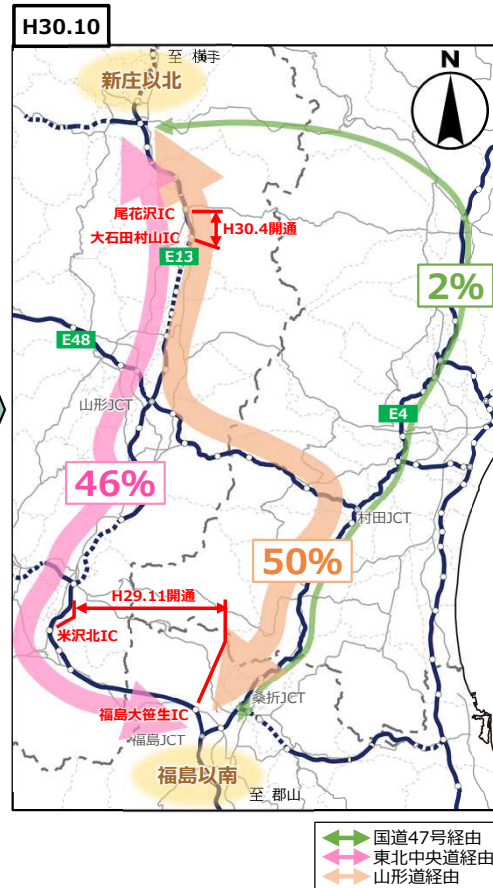
- 東北中央自動車道の段階的な整備に伴い、福島市以南と新庄市以北の広域交通において、東北中央自動車道の利用割合が徐々に増加し、令和5年では東北中央自動車道を利用した米沢経由が約9割を占める。

■ 周辺エリアの高速道路等における交通量の変化(全日)

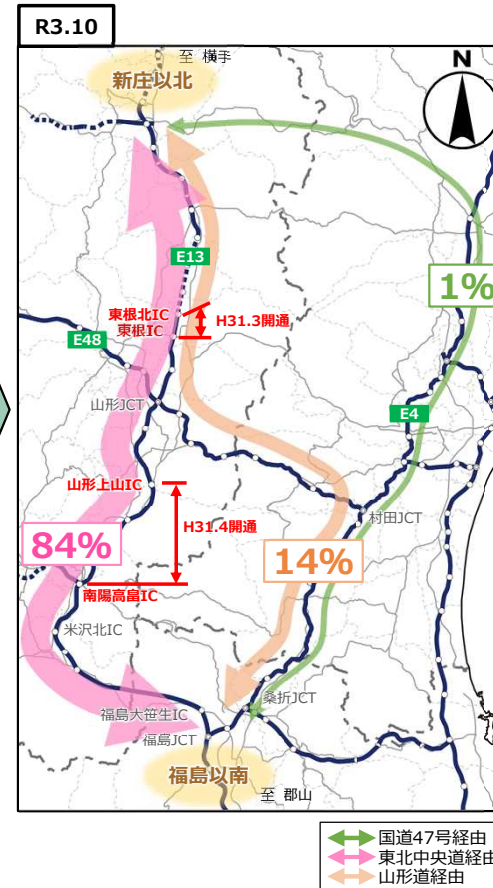
<福島大笹生IC～米沢北IC開通前>



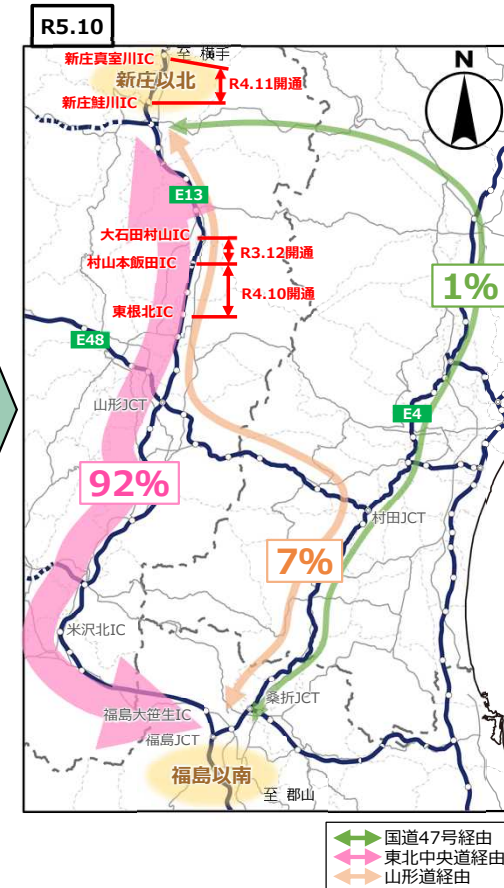
<福島大笹生IC～米沢北IC開通後>



<福島～山形開通後>



<福島～新庄開通後>



※新庄IC周辺道路及び福島JCT以南（福島JCT～福島南IC）を利用する車両の利用経路割合を山形県と宮城県・福島県境部の利用経路（国道47号、山形道・国道287号、東北中央道・国道13号）から整理

高速道路の環状ネットワークの形成による広域交通の転換

- 東北中央自動車道の段階的な整備に伴い、福島市以南と横手市以北の広域交通において、徐々に東北中央自動車道経由の利用割合が増加。
- 令和5年において、新庄～横手間にミッシングリンクが依然として残るものの、東北中央自動車道を利用した米沢経由が約4割を占める。

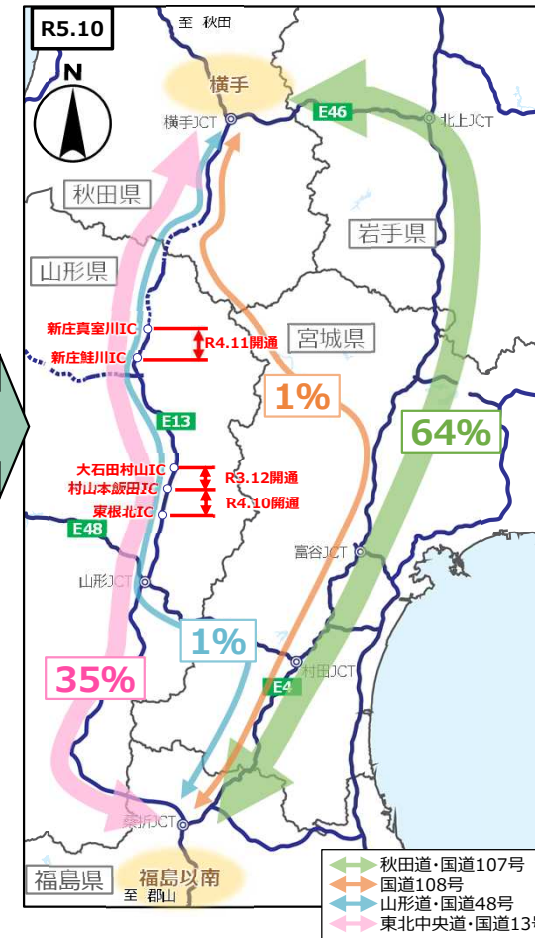
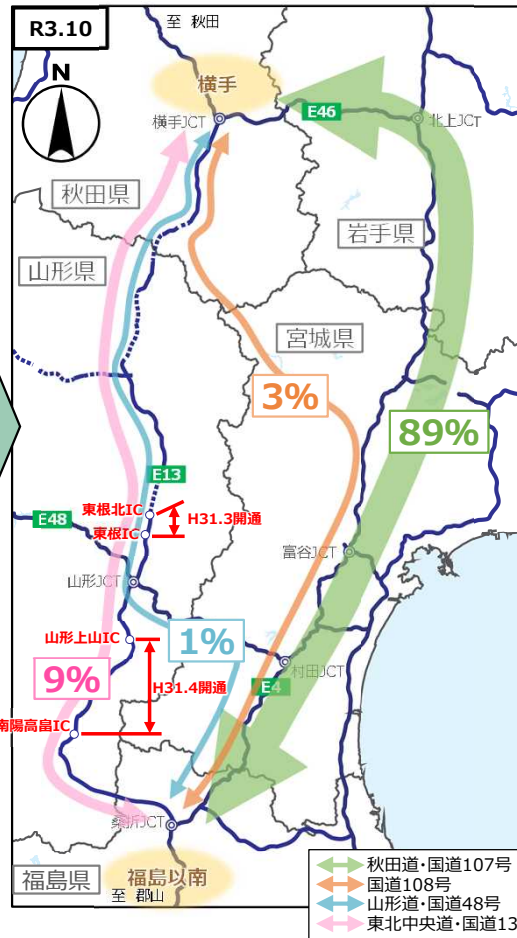
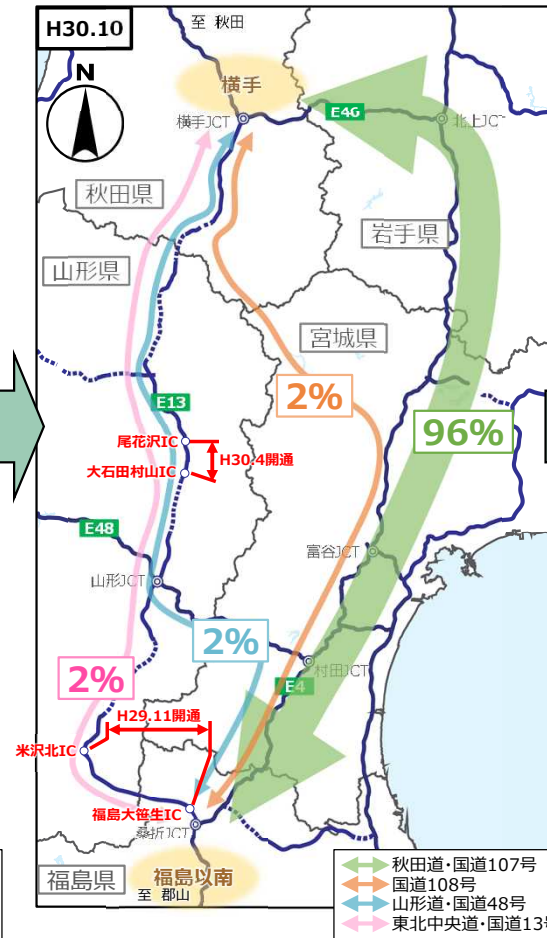
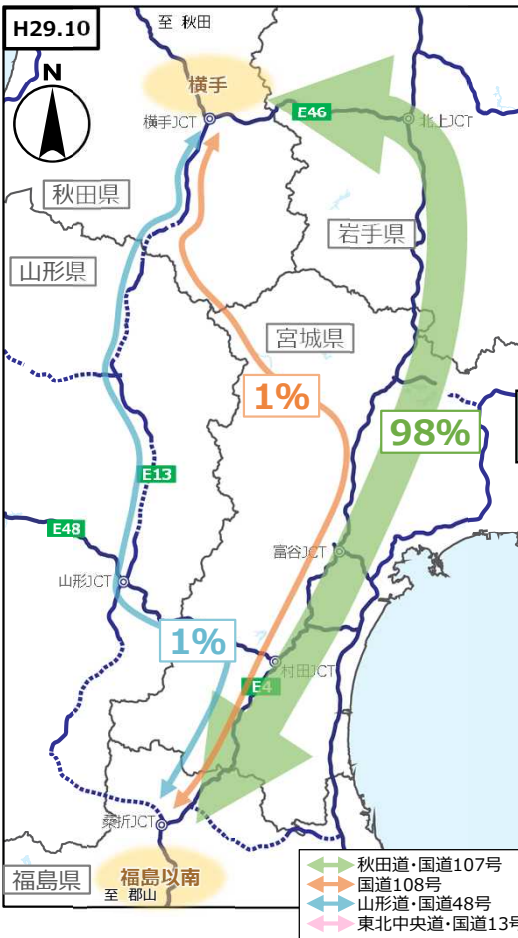
■ 周辺エリアの高速道路等における交通量の変化(全日)

<福島大笹生IC～米沢北IC開通前>

<福島大笹生IC～米沢北IC開通後>

<福島～山形開通後>

<福島～新庄開通後>



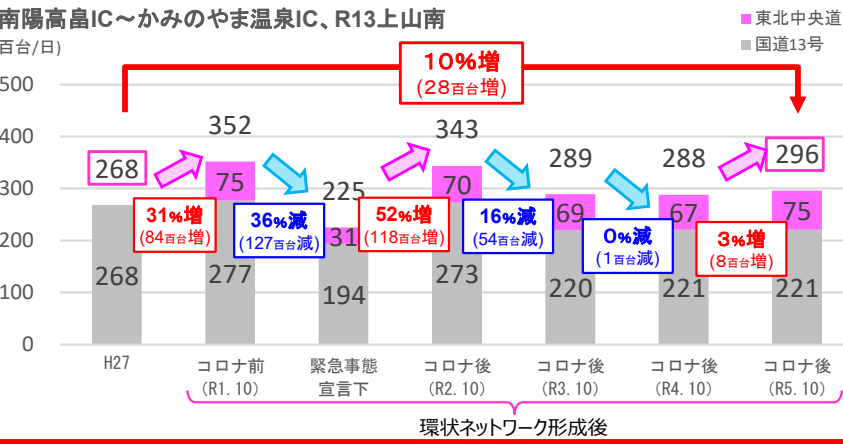
※横手JCT周辺道路及び福島JCT以南（福島JCT～福島南IIC）を利用する車両の利用経路割合を秋田県と岩手県・宮城県、山形県と宮城県・福島県県境部の利用経路（秋田道・国道107号、国道108号、山形道・国道48号、国道287号、東北中央道・国道13号）から整理

高速道路の環状ネットワークの形成による広域交通の転換

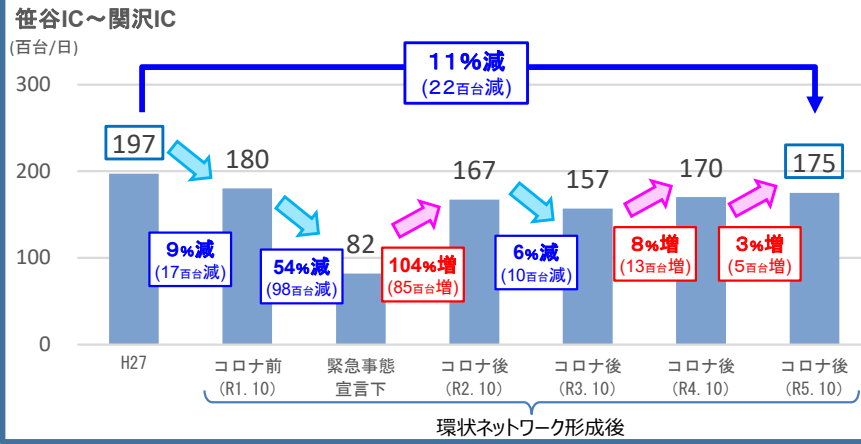
- 東北中央道（南陽高畠IC～山形上山IC）がH31.4に開通し、高速道路の環状ネットワークが形成されたことにより、**福島・山形県境部の断面交通量は約35百台/日増加**。南陽高畠IC～かみのやま温泉IC間は**約28百台/日増加**。
- 東北道の**福島・宮城県境部の断面交通量は約59百台/日**、山形道の**宮城・山形県境部の交通量は約22百台/日減少**。
- 福島以南～山形以北の広域交通ルートとして、東北中央道利用が定着。

■ 高速道路の環状ネットワークの形成による交通量の変化（全日）

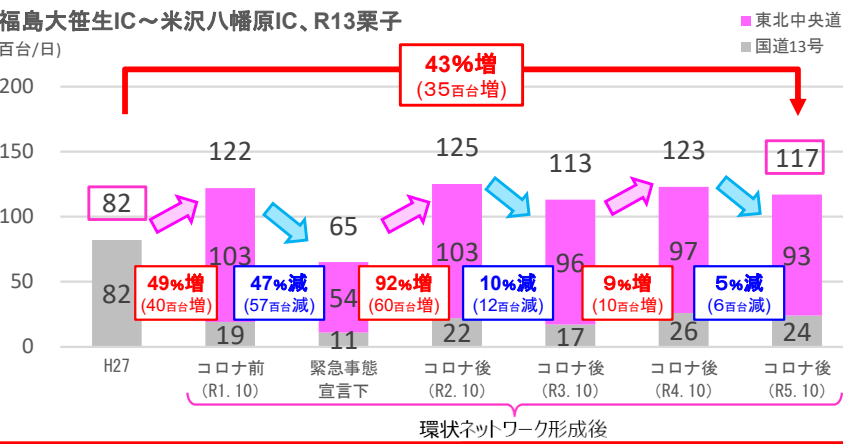
東北中央道・国道13号



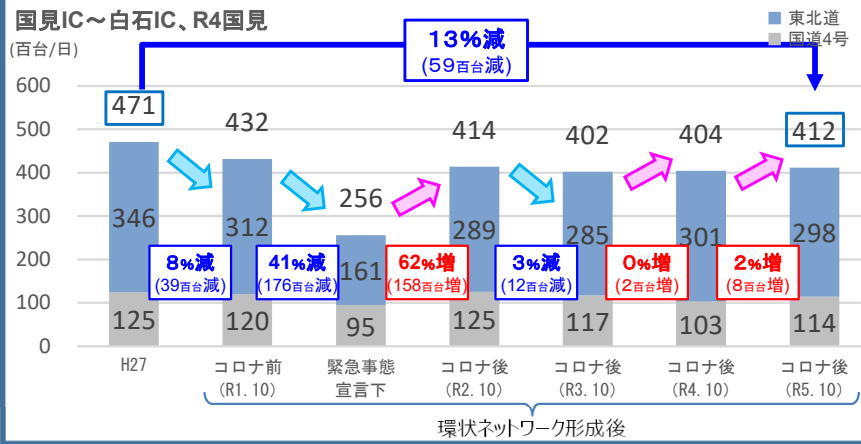
山形道(宮城・山形県境)



東北中央道・国道13号(福島・山形県境)



東北道・国道4号(福島・宮城県境)



【出典】 H27：全国道路・街路交通情勢調査

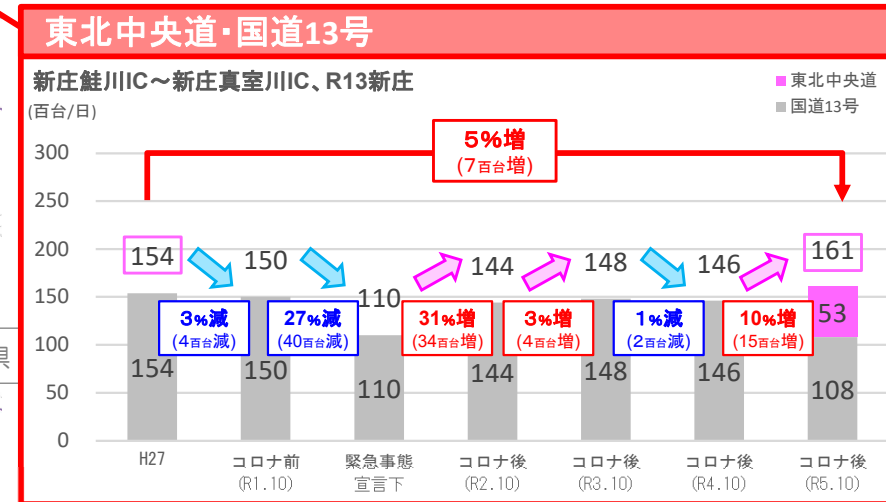
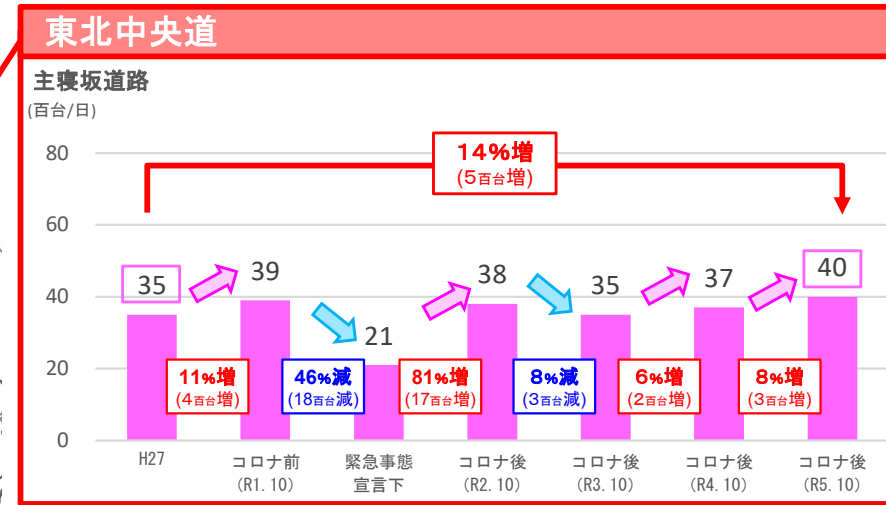
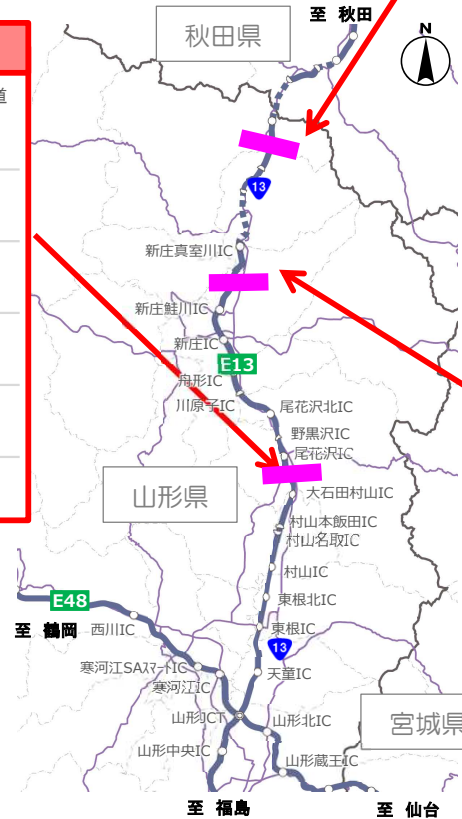
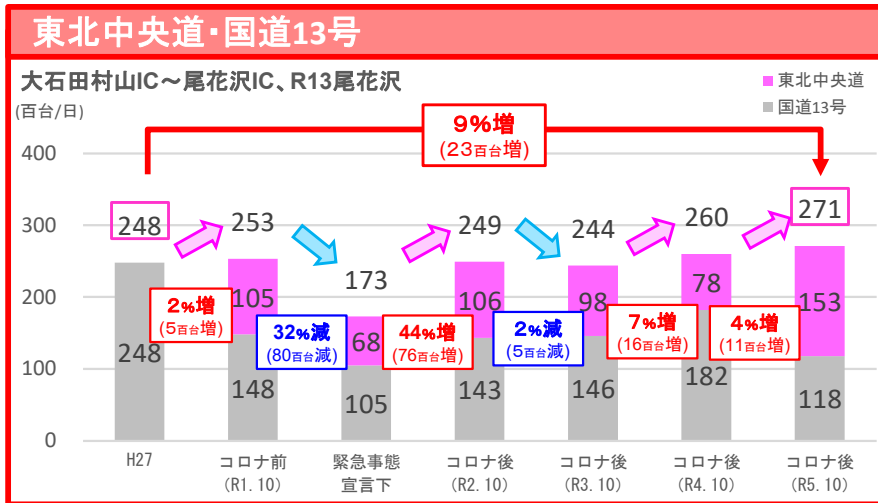
その他：NEXCO東日本提供交通量、国土交通省常時観測トラフィックカウンターデータ

(コロナ前：R1.10.日平均値、緊急事態宣言下：R1.4.16~5.14、コロナ後：R2.10.日平均値、R3.10日平均値、R4.10日平均値、R5.10日平均値)

山形JCT以北における東北中央道・国道13号の交通量の変化

- 東北中央道山形JCT以北では、ミッシングリンクが残る秋田県境に近づくほど交通量は少くなる傾向。
- 一方で、各断面の経年比較では、交通量は年々で増加傾向で推移している。

■ 東北中央道のミッシングリンク区間における交通量の変化（全日）



【出典】 H27：全国道路・街路交通情勢調査

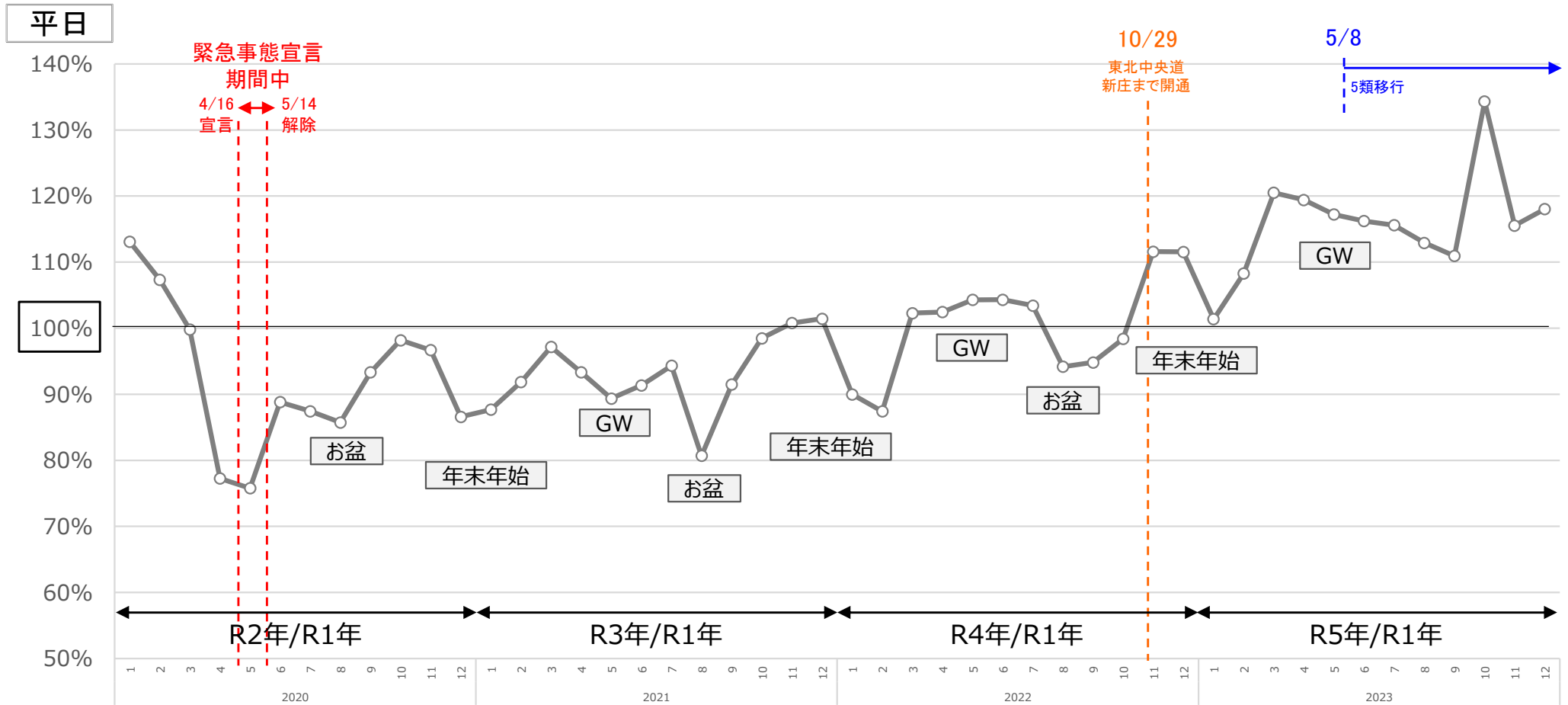
その他：NEXCO東日本提供交通量、国土交通省常時観測トラフィックカウンターデータ

(コロナ前：R1.10.日平均値、緊急事態宣言下：R1.4.16~5.14、コロナ後：R2.10.日平均値、R3.10日平均値、R4.10日平均値、R5.10日平均値)

新型コロナウイルスの影響による東北中央道の交通量の変化【平日】

- 東北中央道の交通量は、徐々に回復傾向で推移し、R4.10以降はコロナ前を上回る水準で推移。
- コロナの収束に加え、東北中央道の開通に伴うミッシングリンク解消による交通需要の高まりが要因として考えられる。

■ 前年度比※の交通量の推移（東北中央道(山形県内)のみ、全車）

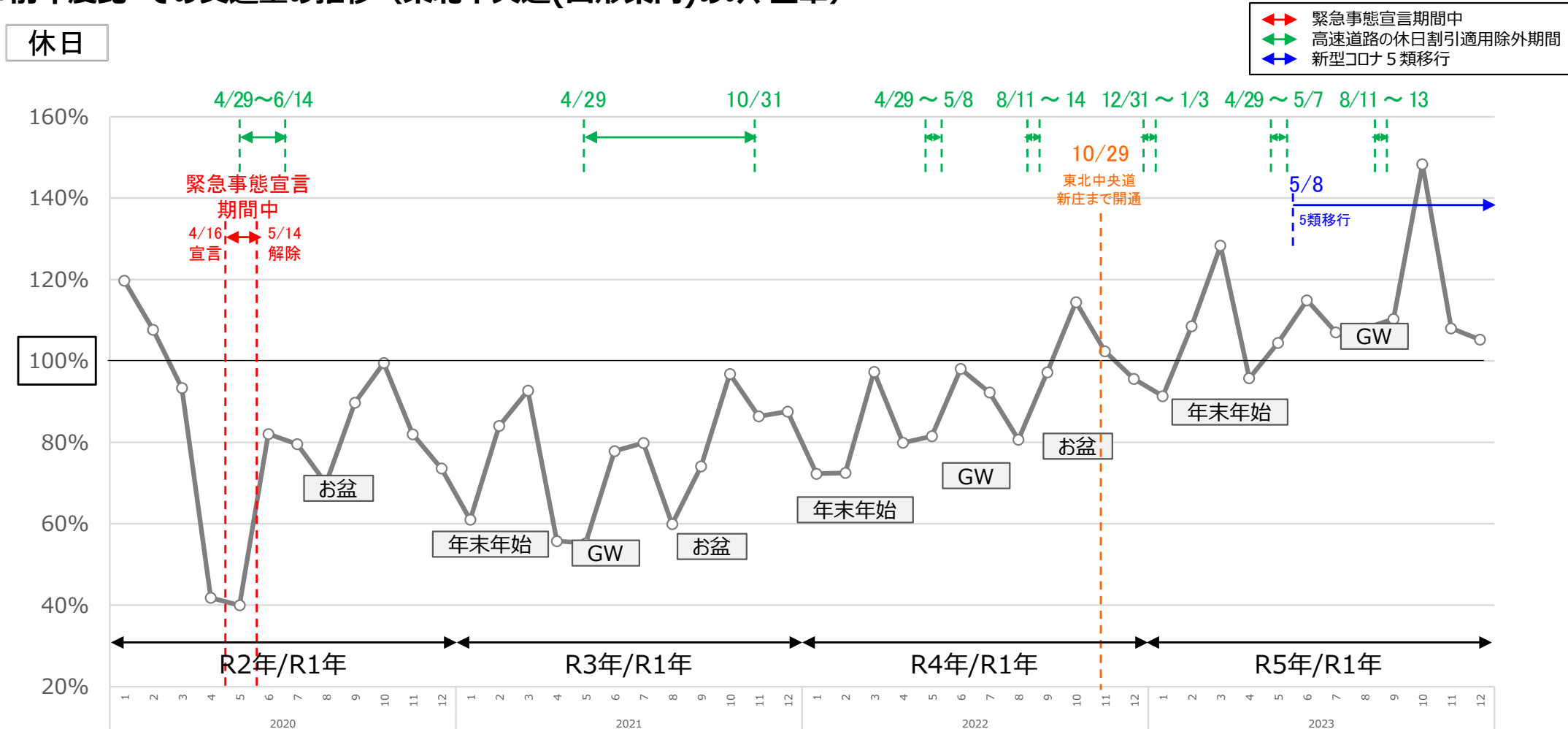


【出典】トランデータより算出（東北中央道の17基の平均値(欠損がある場合は対象期間・対象箇所を除いて集計)）
 ※車種別交通量は、コロナ前同期間(R1年)を100%とした際の比較
 日平均交通量比 (R2・R3・R4・R5 /R1)

新型コロナウイルスの影響による東北中央道の交通量の変化【休日】

- 東北中央道の交通量は、徐々に回復傾向で推移し、R4.10以降はコロナ前を上回る水準で推移。
- コロナの収束に加え、東北中央道の開通に伴うミッシングリンク解消による交通需要の高まりが要因として考えられる。

前年度比※での交通量の推移（東北中央道(山形県内)のみ、全車）

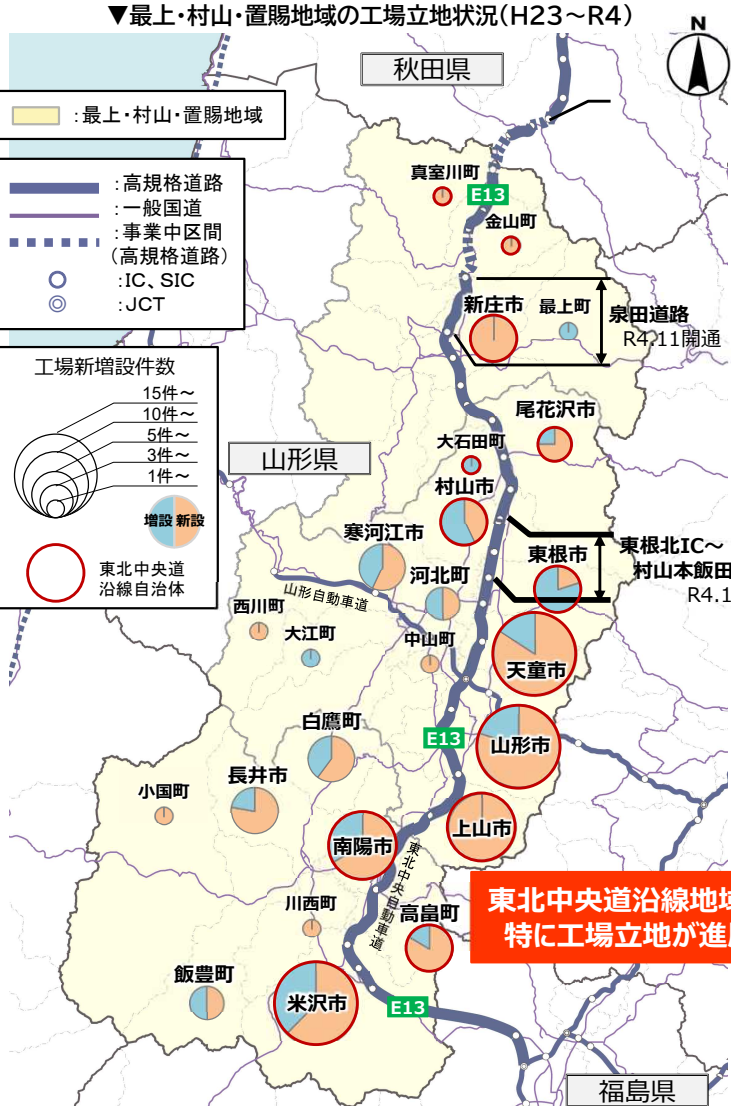


【出典】トラカンデータより算出（東北中央道の17基の平均値(欠損がある場合は対象期間・対象箇所を除いて集計)）
 ※車種別交通量は、コロナ前同期間(R1年)を100%とした際の比較
 日平均交通量比 (R2・R3・R4・R5 / R1)

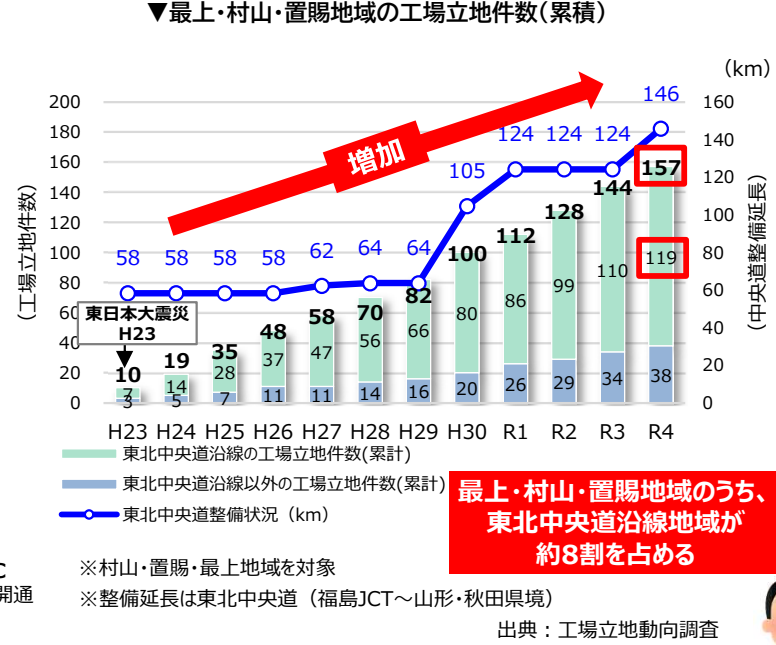
< 開通1年後の整備効果 > 【企業立地】

- 東北中央自動車道の整備とともに、最上・村山・置賜地域では工場が157件立地。特に、東北中央自動車道沿線地域において119件が立地し、最上・村山・置賜地域の約8割を占める。
- 高規格道路で関東地方と直結した新庄市では、令和5年度に2工場が新增設され、EV向けなどのコネクタ部品を東北中央自動車道を利用し関東へ輸送。
- 東北中央自動車道の整備などを背景とした企業立地が進展し、沿線企業の産業振興に寄与。

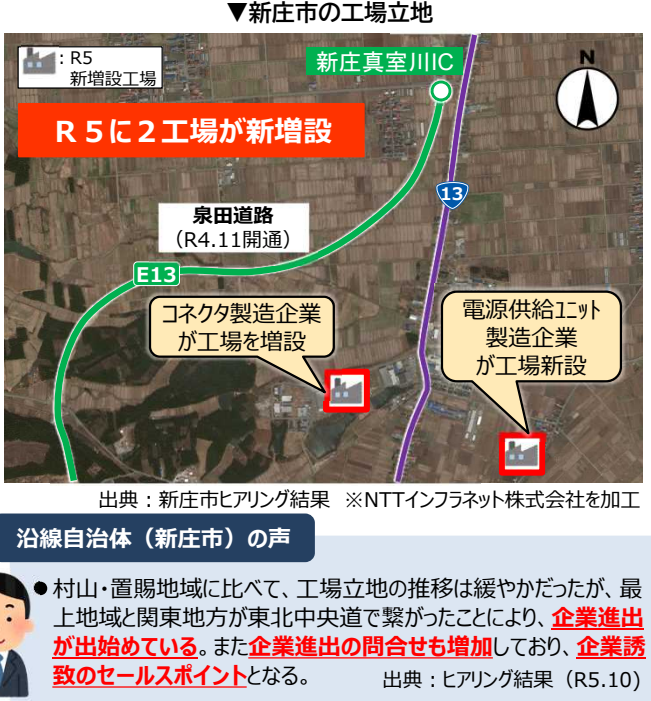
最上・村山・置賜地域の工場立地が進展



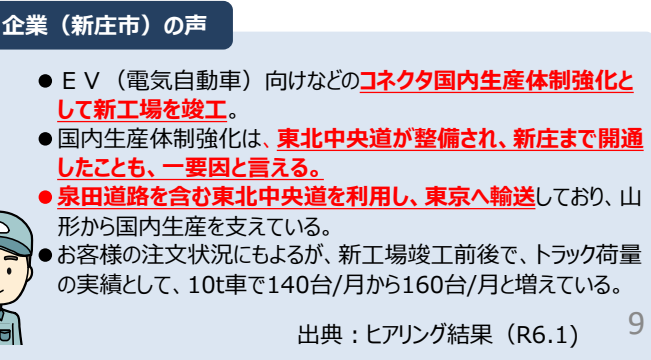
最上・村山・置賜地域での工場立地件数の推移



工場立地事例(新庄市)



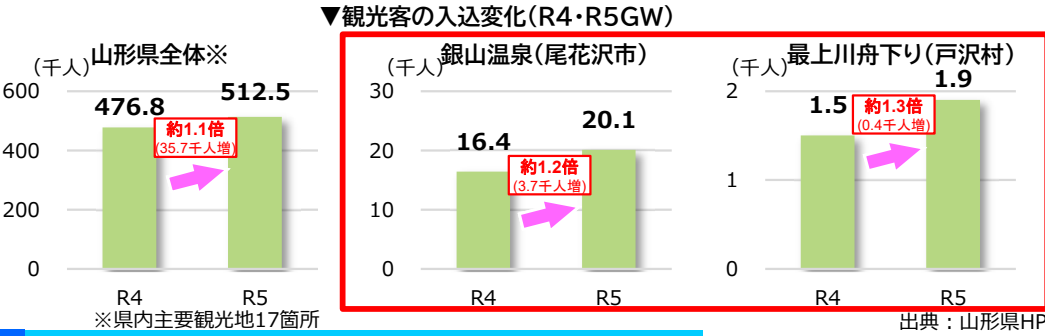
東北中央自動車道を利用しコネクタ部品を関東へ輸送



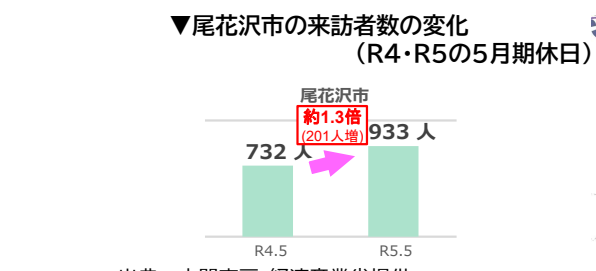
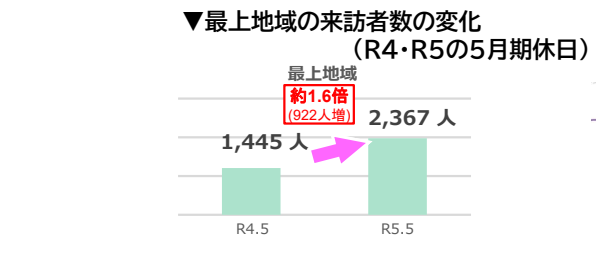
<開通1年後の整備効果>【観光】

- 開通後初のゴールデンウィーク期間では、開通区間近隣の観光地(銀山温泉・最上川舟下り)において観光入込客数が増加。
- 特に高規格道路で関東地方と直結した最上地域では、関東からの休日来訪者が約1.6倍に増加。道の駅「尾花沢」では来訪エリアが拡大し売り上げも増加。
- 東北中央自動車道の整備により、観光入込客の増加や来訪エリアの広域化など、地域の賑わい創出に寄与。

ゴールデンウィーク期間中、開通区間近隣の観光地で観光入込客が増加

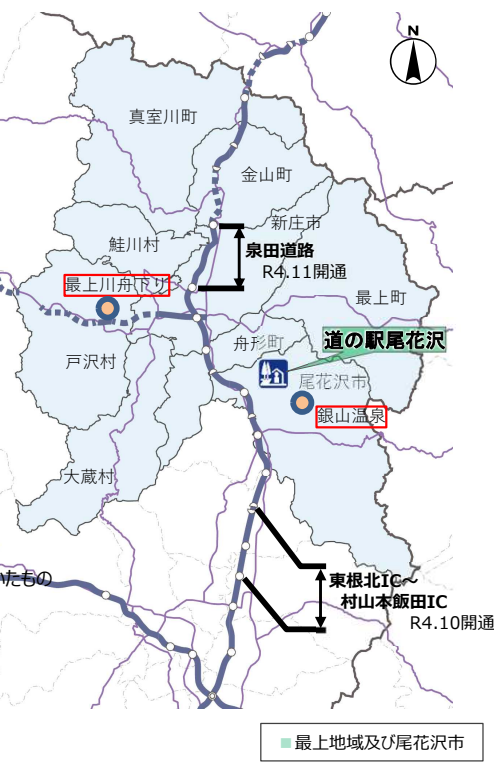


最上地域等において関東からの休日来訪者が増加

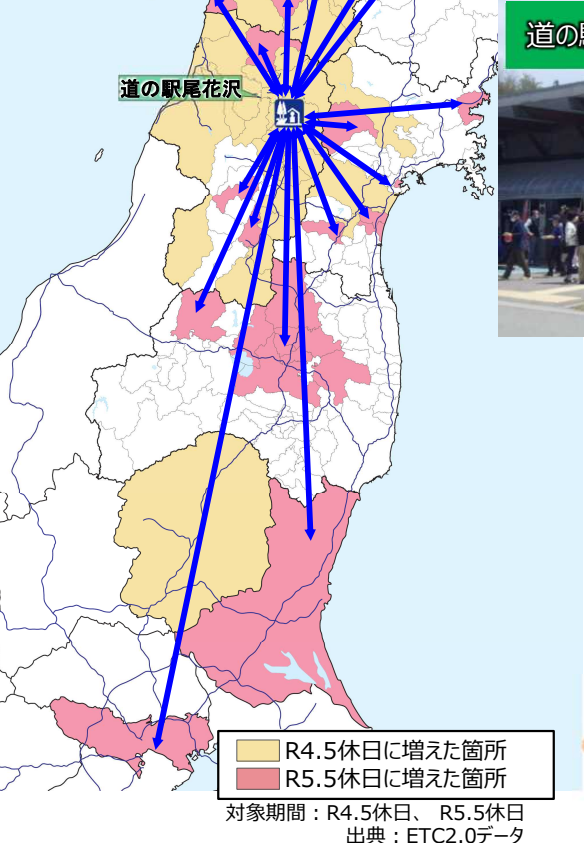
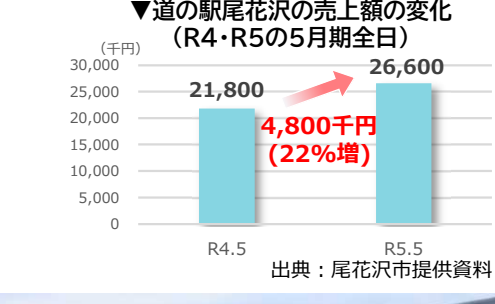


出典：内閣官房・経済産業省提供
 地域経済分析システム (From-to分析) ※
 ※携帯電話のアプリ利用者の位置情報を用いたもの
 ・対象期間：R4.5・R5.5
 ・休日14時の居住地別滞在人数から算出

**最上地域及び尾花沢市において
 関東からの来訪が増加**



道の駅「尾花沢」立ち寄り客の来訪エリアが広域化し売り上げも増加



沿線自治体(尾花沢市)の声

- 首都圏と最上地域が高速道路で繋がったことに加え、コロナによる行動制限がなくなったことも後押し、県内ナンバーはもとより、**県外ナンバー(関東、福島、宮城等)の来訪も多く見られ、高速道路ネットワークによる効果を感じている。**
- GWは人出で賑わい、売上も順調に増加しており東北中央道の開通効果と認識している。
- 今後もにぎわいを創出できるよう、イベントなどを企画していく予定。
 出典：ヒアリング結果 (R5.5)

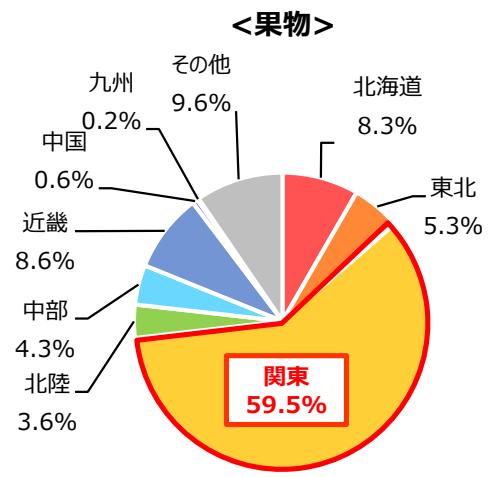
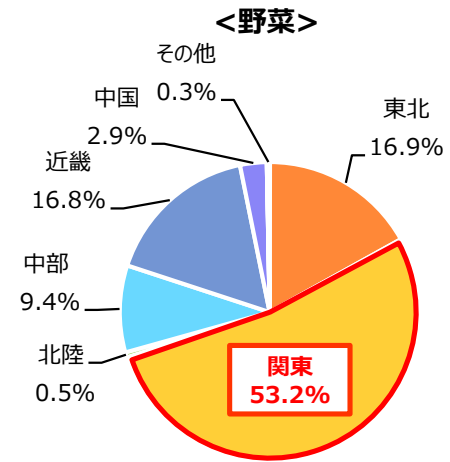


<ネットワークの整備効果>【農業】

- 山形県産の農産物(野菜・果物)は、半数以上が首都圏向けに出荷。
- 置賜地域の農産物は、主に東北中央自動車道を利用し首都圏へ出荷。村山・最上地域の農産物の首都圏出荷時には、東北中央自動車道と山形自動車道及び東北自動車道を状況に応じた経路選択が可能に。
- 東北中央自動車道の整備により、ダブルネットワークが形成され、農産物の配送遅延の回避など輸送安定化に寄与。

山形県産農産物の販売先割合(R4)

山形県産農産物の出荷ルート変化と効果



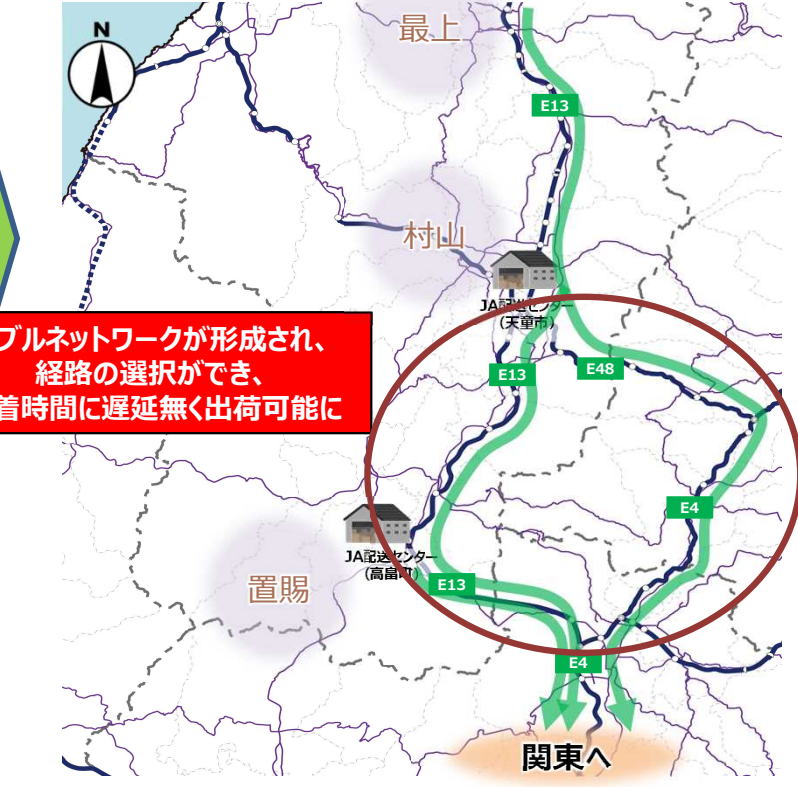
首都圏向けが約5~6割

出典：JA全農山形提供資料

H29(福島-米沢間 開通前)



R5(福島-新庄間 開通後)



ダブルネットワークが形成され、経路の選択ができ、到着時間に遅延無く出荷可能に

※トラックが満載でない場合、天童市の配送センターに集約



JA全農山形の声

- 東北中央道の開通に伴い、置賜地域の農産物は、**主に東北中央道を利用し東京都中央卸売市場へ出荷**され、村山・最上地域の農産物は、**状況に応じ、東北中央道または山形道を利用し東京都中央卸売市場へ出荷**。
- 東北中央道・山形道のダブルネットワークができたことにより、事故・通行止め発生時も、**状況に応じた道路を選択でき、到着時間の遅れなく、出荷が可能**となった。

出典：ヒアリング結果（R5.12）

<ネットワークの整備効果>【医療・防災】

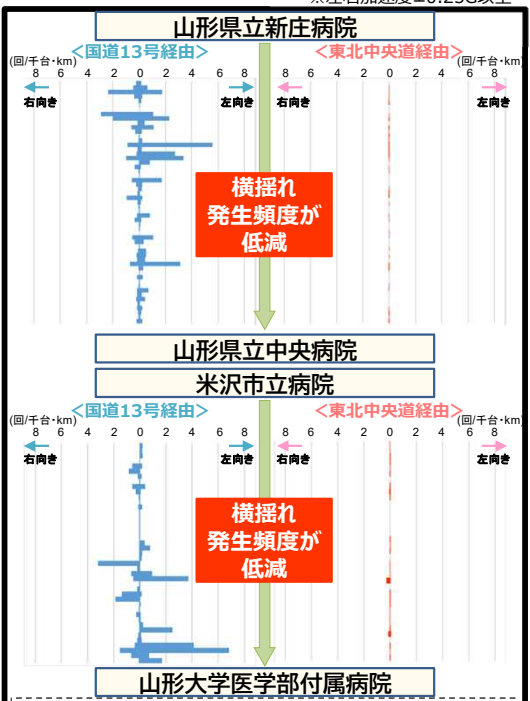
- 最上・置賜地域の病院では、より高度な医療が必要となった場合には、山形市の高次医療施設へ搬送が必要。
- 東北中央自動車道の整備により、安定した搬送が可能となるなど、地域の救急医療活動を支援。
- 東北中央自動車道と国道13号のダブルネットワークが形成され、災害・事故に強い道路に。

東北中央自動車道の整備により救急搬送の安定性が向上

ダブルネットワークの形成により災害・事故に強い道路へ

▼東北中央道を利用した救急搬送ルート

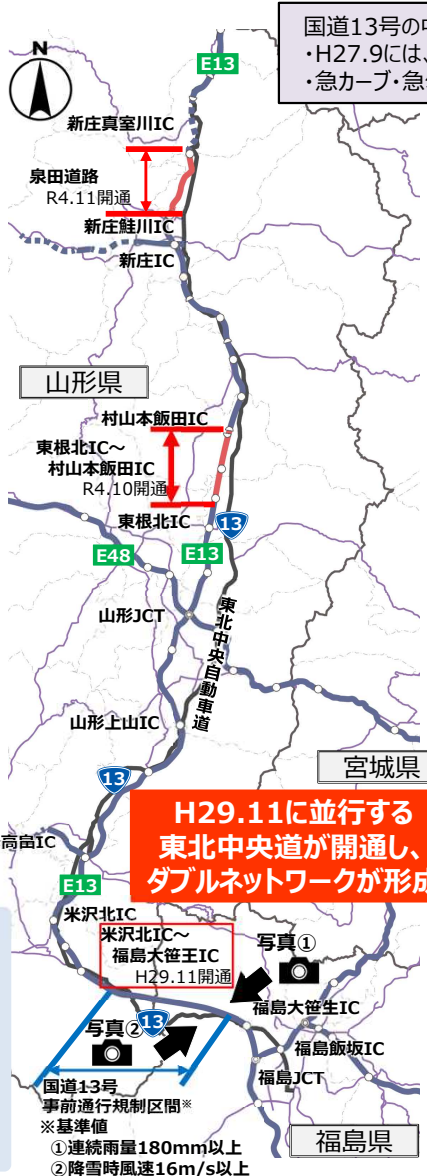
▼救急搬送ルートの横揺れ※発生頻度 (東北中央道・国道13号)



加速度（横揺れ）による人体への影響
左右加速度が±0.15Gを超えると、最大血圧の変動量が10mmHgを超える傾向が強く、患者の安静度に影響を与える
参考文献：地域の医療を支援する道路構造の分析・評価（第27回日本道路会議）

消防本部の声

- 東北中央道（東根北～村山本飯田）開通により、新庄病院から山形県立中央病院等への搬送時間の短縮に加え、信号交差点等の通過に伴う揺れも少なくなり、患者さんへの負担が少なく、安定的な搬送が可能となりました。（最上地域）
 - 置賜地域での対応が難しいより高度な医療を要する場合は山形市の病院へ転院搬送している。平成31年度には東北中央道が山形市まで繋がりが迅速な搬送が可能となりました。（置賜地域）
- 出典：ヒアリング結果（R5.12）



国道13号の中でも福島～米沢間の栗子峠には事前通行規制区間が存在。
・H27.9には、大雨による通行止めが発生。（連続31時間）
・急カーブ・急勾配などあり、冬にはスタックによる立ち往生も発生。



道路利用者の声

- 新庄～東京まで、毎日製品を出荷しているため、事故通行止め等であっても、ダブルネットワークとなったことで、安定的な出荷ができています。特に冬期の運搬については安心感も増し、企業活動が止まることなく、効果としても大きいと感じている。（製造企業）
- 医療現場は広範囲であり、現場への出動や病院への搬送など、ダブルネットワークの形成により、状況に応じた経路選択が可能となり、救急医療活動がしやすくなった。ダブルネットワークだと、どちらかの道路が災害等通行止めとなっても、もう一本あるので心強い。（消防本部）



■ 今年度の取り組み

- ・東北中央道の整備に伴う広域的な交通状況の変化を検証
- ・新型コロナウイルスの影響による交通量の変化を継続的に検証
- ・東北中央道整備の進展に伴う地域経済にもたらすストック効果として、産業面、観光面、防災面で分析・整理

□ 次年度の取り組み

次年度も引き続き、東北中央道整備による効果や利活用の状況を分析し、協議会の場で共有・議論をすることにより、協議会構成機関の取り組みを支援。